

湘南・大磯 邸園フォーラム

特別講演

隈研吾 氏 建築家、東京大学特別教授・名誉教授

明治記念大磯邸園の設計に携わる建築家の隈研吾氏が、大磯町を中心とした湘南地域の邸園文化の魅力、今後の期待を語ります。



Photo © J.C. Carbonne

基調講演

坂井文 氏 東京都市大学教授
(明治記念大磯邸園有識者委員会委員)

トークセッション

講演者に加えて

中崎久雄 氏 大磯町長

森浩章 氏 湘南邸園文化祭連絡協議会 会長

川瀬忍 氏 大磯町在住(生まれ)陶芸家 が参加

隈研吾 氏



写真: 明治記念大磯邸園 陸奥宗光別邸跡・旧古河別邸 和室

開催日

10月2日(日)
10:00~12:00(受付9:30~)

入場無料

事前予約が必要です
(次ページ(裏)をご覧ください)

会場

聖ステパノ学園「海に見えるホール」
大磯町大磯868

主催

国土交通省関東地方整備局・
神奈川県・大磯町

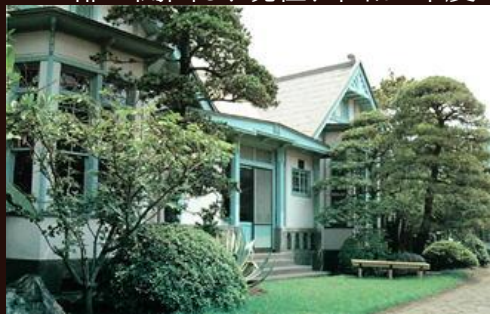
協力

学校法人聖ステパノ学園

明治記念大磯邸園とは

明治期の立憲政治の確立等に貢献した先人の業績等を後世に伝えるため、歴史的遺産である旧滄浪閣(伊藤博文邸跡・旧李王家別邸)等を中心とする建物群及び緑地の一体的な保存・活用を図るプロジェクトです。

「明治150年」関連施策の一環として、国と地方公共団体との連携の下、令和2年11月に庭園の一部を開園し、現在、令和5年度の邸宅の一部公開に向けた取組が進められています。



旧滄浪閣



陸奥宗光別邸跡



旧大隈重信別邸

湘南邸園文化とは

相模湾沿岸一帯は、明治期から別荘・保有地を形成して、首都圏で活躍する政財界人・文化人らが滞在・交流する地域として発展してきました。その邸宅・庭園などは当時の風光明媚な景観を生かした庭園と建築技術の粋を集めた建物が融合した価値の高いもので、その緑豊かで閑静な住宅地の街並みや歴史的建造物の佇まいは『湘南の邸園文化』として今も息づいています。



旧山本条太郎別荘



旧吉田茂邸



茅ヶ崎館

申込方法

- ・申込期間:9月1日(木)～9月12日(月)(定員約80名、希望者多数の場合は抽選)
- ・申込方法:大磯町 都市建設部 都市計画課まで電話、またはEメール(1予約につき2名まで)
連絡先:0463-61-4100(代表) 内線243(平日8:30～17:15)
Eメール:oubo-toshikeikaku@town.oiso.kanagawa.jp
- ※Eメールでの申込みの際は、参加者全員のお名前、ご連絡先、お住まい(市町村まで)をご記入願います。
- ※YouTube大磯町公式チャンネルでのライブ配信も予定しています(申込不要です)。
<https://www.youtube.com/channel/UC9bc-wvHf3C1xLqU3oayqg>

会場地図



注意事項

- ・来場者の駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。
- ・マスク着用をお願いします。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、お名前とご連絡先を確認いたします。
- ・発熱(37.5℃以上)が確認された場合は、入館をご遠慮いただきます。

お問合せ

大磯町 都市建設部 都市計画課
住所:大磯町東小磯183
連絡先:0463-61-4100 内線243
平日8:30～17:15